

日本農業教育学会誌 論文執筆の手引き (2011 年4 月改定)

自然科学系の論文は次の要領による。ただし、人文・社会科学系の論文にあっては、この区分によらなくてもよいが、その趣旨を参考にされたい。

1. 緒言（緒論，序論，まえがき，はじめになど）

研究を行った動機，研究に関係のあるこれまでの文献を紹介的に述べ，問題点を明らかにし，研究の目的，進め方などを簡潔，明瞭かつ具体的に説明する。さらに，この研究が従来の研究とどう関係し，どういう点で新しいかなどを明確にする。

2. 研究方法（実験方法，解析方法，観察方法，調査方法）

研究（実験，観察，調査）の理論，材料，器具，方法などの要点を記す。第三者が読んで理解でき，さらに追試が可能であるように書くことが必要である。文献通りの方法であれば，引用するだけでよい。

3. 研究結果（実験・観察・調査・実践結果など）

実験，解析，観察，計測，調査，実践などの結果を述べる。結果は，図，表，写真などを用いて述べる。結果の記載は事実通りに書く。なお，数値データに関しては検定等を用いた統計処理を行うことが必要である。

4. 考察

結果と一緒にして述べられることもある。ここでは結果をまとめて説明し，いかなる結論が得られるか，いかなる推論が成り立つかなどを中心に述べる。また，今までに得られている結果との比較も必要であり，いろいろな角度から考察し，著者の研究の成果を明らかにする。ただし，結果の二重記述については厳に慎むこと。

5. 結語（あとがき，むすび，おわりになど）

別項目にしない場合もある。ここでは全体を通して簡単に総括し，主要な結論，展望を述べる。結論は箇条書きにすることも行われる。

6. 謝辞：論文作成に当たって助力を得た人々に感謝の意を述べる。

7. 要約（摘要，要旨）

目的・方法・結果・結論を読者が一読して，その内容を迅速かつ的確に把握できるようにする。

8. 引用文献

著者の得た結果あるいは考えと比較，援用し，考察するためのもので，ひとりよがりにならないために必要かつ十分な引用が必要である。文献的研究を除いて，一つの事項に多くの研究がある場合には代表的なものに限ることも必要である。